

## 平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	アジアへ発信、宗像の宝 ～観光を主体とした宗像産業振興プロジェクト～		
(2) 実施団体名	宗像市	(3) 対象地域	福岡県宗像市を中心とする福岡県北部沿岸地域
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	

(6)実施した取組の内容	<b>取組①</b>	観光モデルプラン構築プロジェクト	
	実施主体	元気な島づくり事業推進協議会、玄海地区観光連絡協議会、産業振興戦略プロジェクト・チーム	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 農業・漁業体験型観光モデルプラン、大島港を起点とした大島親子釣り大会、島の資源を活かしたウォーキング等のイベントを軸とした観光モデルプラン実施および観光基礎調査実施</li> <li>・実施時期: 平成20年9月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 宗像市内</li> <li>・取組の目的: 観光ルート、観光プログラムの企画開発、観光行動把握、地域資源把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 8つのモデルツアーを実施。アンケート調査実施。観光基礎調査・分析実施。</li> <li>・実施時期: 平成20年9月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 宗像市内(大島、正助ふるさと村、道の駅むなかた、宗像大社等)</li> <li>・取組の目的: 宗像へ訪れる観光者の年代、来訪エリア、来訪目的などのニーズの把握を行った。各ツアー、観光PRイベントでは、予想を上回る参加があり、また、ツアー参加者の満足度は高かった(満足度90%以上)。モデルツアーの有効性が実証され、一部継続して本格実施する。</li> </ul>
	<b>取組②</b>	農水産物の商品開発プロジェクト	
	実施主体	産業振興戦略プロジェクトチーム(市、農業協同組合、漁業協同組合、商工会、観光協会)、JA特産品開発部会、玄海ふるさとネットワーク、農事組合	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 水産、農産資源を使った特産品(3品目)試作</li> <li>・実施時期: 平成20年9月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 市内加工場他</li> <li>・取組の目的: 観光の起爆剤、地域産業の底上げにつながる特産品の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 水産、農産資源を使った特産品(3品目: ヤーコンチップ・サラダ、米粉パン、テンペ菓子)試作</li> <li>・実施時期: 平成20年9月～平成21年3月 平成20年11月22日-23日 農業祭りにてヤーコンチップ、ヤーコンサラダを試験販売実施</li> <li>・実施場所: 市内加工場他、試験販売JAむなかた</li> <li>・取組結果: 試験販売の成果が良好で、平成21年度には「道の駅むなかた」等において販売を予定。また、ヤーコンの収穫・加工の体験プログラム化が決定。</li> </ul>
	<b>取組③</b>	観光・産業振興戦略プロジェクト	
実施主体	産業振興戦略プロジェクトチーム(市、農業協同組合、漁業協同組合、商工会、観光協会)		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 宗像市、農業協同組合、漁業協同組合、商工会、観光協会によるプロジェクト・チーム発足、ホームページ開設、インターネットによる観光ルート・特産品等の広報宣伝・商品販売、市場開拓。地域産品を紹介・PRする産業振興フェア開催。観光プランや農水産品の情報発信。</li> <li>・実施時期: 平成20年9月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 宗像市、北九州市</li> <li>・取組の目的: 地域産業を支える民間団体との横断的な取組の推進、販路拡大、交流人口の増大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 産業振興戦略プロジェクト・チーム発足。観光・物産フェア(於: 代々木)出店、農業祭りで物産販売、「起業祭」(北九州市)出店により観光プランや農水産品の情報発信、PR活動実施。</li> <li>・インターネットでの販売システム構築し、ブリ、クエ、干物セットの試験販売開始。情報発信携帯端末を活用した会員システムを構築し、宗像市内において運用開始。また、メディアを活用した水産品(年末のブリ)の販売を試験的に実施。</li> <li>・販路拡大・情報発信として、イベントにおいて、市内レストラン、ホテル、商店等の割引クーポン券を企画・配付、その効果分析により消費動向を把握。</li> <li>・実施時期: 平成20年9月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 宗像市、北九州市、東京都</li> <li>・取組の成果: 横断的な取り組み体制が確立。インターネット等の販売システム、会員システムの構築は完成したが、販売実績では十分な成果は得られておらず、活用はこれからの課題である。メディアを活用したブリ販売実績は約700尾であり十分な効果が確認された。</li> </ul>	

<p>(7)実施体制</p>	<p>平成20年度の実施における体制・役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗像市商工観光課(主担当:取組①②③)</li> <li>・全プロジェクトを取りまとめ、JR九州とタイアップした大島島内ウォーキングツアーを担当</li> <li>・元気な島づくり事業推進協議会(主担当:取組①)</li> <li>・大島親子釣り大会(島一周クルージングを含む)を担当</li> <li>・宗像市、宗像農業協同組合、鐘崎漁業協同組合、宗像漁業協同組合、宗像市商工会、宗像観光協会による産業振興戦略プロジェクト・チーム(主担当:取組①②③)</li> <li>・特産品・観光に関する広報宣伝、特産品開発・試験販売</li> <li>・玄海地区観光連絡協議会(芦屋町・岡垣町・宗像市・福津市・古賀市・新宮町)(主担当:取組①)</li> <li>・広域観光取り組みに係る広域観光ルート作成</li> <li>・JA特産品開発部会、玄海ふるさとネットワーク、農事組合法人日の出(担当:取組②)</li> <li>・特産品開発、試験販売</li> </ul>	<p>取組の実施を踏まえた反省点</p> <p>取組① 元気な島づくり事業推進協議会では、構成団体と連携しながら実施。事業参加者数が多く見込まれるため、多くの島民スタッフの協力を得た事業を実施することが課題。広域観光の取り組みについては、芦屋町・岡垣町・宗像市・福津市・古賀市・新宮町による玄海地区観光連絡協議会の取り組みの枠組みが完成したが、観光に対する取り組みスタンスの相違があるため、さらに議論を深めながら一体的な取り組みを進展させていきたい。</p> <p>取組② 特産品開発については、当初計画になかった農業法人等の協力が得られた。</p> <p>取組③ 観光・産業振興戦略プロジェクトでは、組織の構成員である各種団体の枠にとられない、地域課題共有と意識啓発を一層進めていく必要がある。</p>																																				
<p>(8)取組により得られた成果</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 496 2119 528">○成果1→ 社会実験実施に伴う事業参加者数(観光プログラム・イベント等への参加者数)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 528 1032 576">H19 0人</td> <td data-bbox="1032 528 1379 576"></td> <td data-bbox="1379 528 2119 576">H20(当初予定していた目標) 約3,000人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 576 2119 608">H20(実際に得られた成果)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 608 2119 671">・各種観光プログラム、民間とのタイアップツアー実施への参加、観光・産業振興戦略プロジェクトの特産品PR・販路拡大事業のためのイベントブース設置等により、単独のイベント・事業だけでなく、東京代々木、北九州等で実施されたイベントでのPRを行い、参加者数は目標値を大幅に超える約13,000人を達成した。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 671 2119 703">○成果2→ 体験型モデルツアーの構築・実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 703 1032 751">H19 0ツアー</td> <td data-bbox="1032 703 1379 751"></td> <td data-bbox="1379 703 2119 751">H20(当初予定していた目標) 7ツアー</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 751 2119 783">H20(実際に得られた成果)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 783 2119 871">・大島港を活かした釣教室実施(参加73名)、グリーンツーリズムモニターツアー実施(24名)、民間ツアー会社とタイアップしたウォーキングツアー(2ツアー、43名) ・ツアー参加者アンケートで高い満足度(評価)を得た。 ・計画より多い、8ツアーを実施した。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 871 2119 903">○成果3→ 新たに開発する特産品数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 903 1032 959">H19 0品目</td> <td data-bbox="1032 903 1379 959"></td> <td data-bbox="1379 903 2119 959">H20(当初予定していた目標) 3品目</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 959 2119 991">H20(実際に得られた成果)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="349 991 2119 1054">・ヤーコンを使ったチップスやサラダ、米粉パン、テンペ(大豆発酵食品)菓子の3品目の試作を行った。 ・ヤーコンを使った特産品では、平成20年11月の農業まつりにおいて試験販売(試食)を行った。また、モニターツアーにおいて地元料理としてツアー客に提供し、好評であった。</td> </tr> </table>		○成果1→ 社会実験実施に伴う事業参加者数(観光プログラム・イベント等への参加者数)			H19 0人		H20(当初予定していた目標) 約3,000人	H20(実際に得られた成果)			・各種観光プログラム、民間とのタイアップツアー実施への参加、観光・産業振興戦略プロジェクトの特産品PR・販路拡大事業のためのイベントブース設置等により、単独のイベント・事業だけでなく、東京代々木、北九州等で実施されたイベントでのPRを行い、参加者数は目標値を大幅に超える約13,000人を達成した。			○成果2→ 体験型モデルツアーの構築・実施			H19 0ツアー		H20(当初予定していた目標) 7ツアー	H20(実際に得られた成果)			・大島港を活かした釣教室実施(参加73名)、グリーンツーリズムモニターツアー実施(24名)、民間ツアー会社とタイアップしたウォーキングツアー(2ツアー、43名) ・ツアー参加者アンケートで高い満足度(評価)を得た。 ・計画より多い、8ツアーを実施した。			○成果3→ 新たに開発する特産品数			H19 0品目		H20(当初予定していた目標) 3品目	H20(実際に得られた成果)			・ヤーコンを使ったチップスやサラダ、米粉パン、テンペ(大豆発酵食品)菓子の3品目の試作を行った。 ・ヤーコンを使った特産品では、平成20年11月の農業まつりにおいて試験販売(試食)を行った。また、モニターツアーにおいて地元料理としてツアー客に提供し、好評であった。		
○成果1→ 社会実験実施に伴う事業参加者数(観光プログラム・イベント等への参加者数)																																						
H19 0人		H20(当初予定していた目標) 約3,000人																																				
H20(実際に得られた成果)																																						
・各種観光プログラム、民間とのタイアップツアー実施への参加、観光・産業振興戦略プロジェクトの特産品PR・販路拡大事業のためのイベントブース設置等により、単独のイベント・事業だけでなく、東京代々木、北九州等で実施されたイベントでのPRを行い、参加者数は目標値を大幅に超える約13,000人を達成した。																																						
○成果2→ 体験型モデルツアーの構築・実施																																						
H19 0ツアー		H20(当初予定していた目標) 7ツアー																																				
H20(実際に得られた成果)																																						
・大島港を活かした釣教室実施(参加73名)、グリーンツーリズムモニターツアー実施(24名)、民間ツアー会社とタイアップしたウォーキングツアー(2ツアー、43名) ・ツアー参加者アンケートで高い満足度(評価)を得た。 ・計画より多い、8ツアーを実施した。																																						
○成果3→ 新たに開発する特産品数																																						
H19 0品目		H20(当初予定していた目標) 3品目																																				
H20(実際に得られた成果)																																						
・ヤーコンを使ったチップスやサラダ、米粉パン、テンペ(大豆発酵食品)菓子の3品目の試作を行った。 ・ヤーコンを使った特産品では、平成20年11月の農業まつりにおいて試験販売(試食)を行った。また、モニターツアーにおいて地元料理としてツアー客に提供し、好評であった。																																						
<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<p>・観光モデルプラン構築プロジェクトにおいて、今年度、観光需要把握や提供側の施設状況、資源調査などの基礎調査結果を整理・分析を完了した。推移を見るために引き続き継続調査が必要。宗像市域においてモデルツアーを実施したが、この成果を生かし、来年度は広域観光の連携組織強化を進めながら、アジアへ発信するための観光モデルプラン作成・実施を引き続き進める。なお、本プロジェクトの取り組みをきっかけとし、観光協会構成員であるホテルを中心に、独自の取り組みとして韓国への営業活動を実施、結果、今年度、韓国の大学、高校の野球チーム約130名の宿泊(1月末から約20日間)の誘客に成功しており、次年度の当該事業による取り組みの本格実施へとつなげていく足がかりができた。</p> <p>・観光・産業振興戦略プロジェクトについては、共同でPRや販売キャンペーンを実施するとともに、インターネットを活用した特産品販売のシステム構築を完了し、販売を開始した。提供メニューの充実や各団体の連携強化、具体的な経済効果の把握等、課題が残るため、来年度は、これらの解決により、当該システムの完成を目指す。</p> <p>・平成20年度課題として残った会員制度の充実や知名度アップのための種々のキャンペーンを実施していく必要がある。特に、宗像市を含めた福岡県北部地域の農業・水産業・観光のPRをより効果的・効率的に実施するため地元での「産業フェスタ」を開催したい。</p>																																					

(10)平成21年度以降の活動の見込み	1. 広域観光連携体制の確立(H21年度) ・広域観光プログラムの開発	<p style="text-align: center;">今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>1. 広域での観光プログラムの開発、戦略的な観光PR活動の実施(H21年度)          ・実施主体: 芦屋町・岡垣町・宗像市・福津市・古賀市・新宮町による玄海地区観光連絡協議会          ・広域観光取組体制の強化、広域的な観光ルート作成及び民間事業者とタイアップしたモデルツアーの実施(3ツアー程度実施予定)。          ・当該地域に訪れる観光者の主な地域である北九州・福岡都市圏、筑豊地区等をにターゲットとして、観光情報のPR活動を行う。特に、H20.12月に沖ノ島関連遺産群が世界遺産暫定リスト記載された。これらの素材を活かした観光PRを新たに追加する。</p> <p>[活用を希望する制度: 上記については地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p>
	2. 観光・産業振興戦略プロジェクトの実践(H21年度) ・インターネットシステムを活用した商品販売、地域情報発信PRの本格実施 ・新たな集客、特産品発表の場としての産業フェスタ開催	<p>2. 試験販売の継続、特産品の開発継続、産業フェスタ開催(H21年度)          ・実施主体: 宗像市、宗像農業協同組合、鐘崎漁業協同組合、宗像漁業協同組合、宗像市商工会、宗像観光協会による官民共同プロジェクト・チーム          ・H20年度で構築したシステムを活用した試験販売を引き続き行うとともに、会員制度の充実を図り、H21年度内の本格運用を目指す。          ・H20に取り組んだ農産物の特産品開発に加え、新たに水産物を素材とした特産品開発を重点的に実施し、3品目程度開発、種々のキャンペーンにより試験販売。本年は、農業祭り等に併せて特設ブースを設置した産業フェアを実施した。この規模・内容を拡大し、玄海沿岸エリア共同での「産業フェスタ」を新たに開催し、地元産品の販売促進及び新たに開発した特産品の発表・調査の場として活用、次年度以降の定期開催イベントとして定着化を目指す。</p> <p>[活用を希望する制度: 試験販売・会員制度: 無し(自主財源にて実施)、左記以外については地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)]</p>
	当初に提案なし	<p>3. 大島港を起点とした世界遺産暫定リスト記載に係る観光プログラムの開発ならびにモニターツアーの実施(H21～H22年度)          ・実施主体: 宗像市(玄海地区観光連絡協議会、元気な島づくり事業推進協議会と連携)          ・H20.12月に世界遺産暫定リストに記載が決定され、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」に関する反響が大きいことから、来訪者のニーズとして「自然」「食」「体験・イベント」を中心としたものから、新たに「歴史・文化」を中心としたものが追加されることや、誘客対象エリアが全国、さらには関係の深い韓国・中国へと拡大することが想定される。これらに対応すべく、沖ノ島への玄関口である大島港を起点とした世界遺産について学習する観光プログラムの開発ならびに世界遺産をテーマにした新たに民間ツアー会社とタイアップしたモニターツアーを2ツアー程度実施、PR方法や海外からの観光客への対応方法等についても検討する。さらには平成23年度供用予定の大島港海洋体験施設と連携したツアーの開発に取り組む。</p> <p>[活用を希望する制度: 上記については地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額300万円)]</p>
	当初に提案なし	<p>4. アジアとの交流を促進する観光者受け入れのためのモニターツアー実施(H21～H22)          ・実施主体: 宗像市(玄海地区観光連絡協議会と連携)          ・アジアからの観光客集客に着手し、文化・スポーツ交流・国際交流等の支援を行い、市内のスポーツ宿泊施設、大学の運動施設等の資源を有効活用し、海外からの観光客を誘客し、対応できる観光プログラムを開発。          ・外国からの観光客を対象に特産品開発につなげるためのモニター調査を行う。</p> <p>[活用を希望する制度: 上記については地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p>

◆主な実施取組の内容◆

実施取組内容・結果

○観光モデルプラン構築プロジェクト

大島港における大島親子釣り教室、民間（JR九州）とタイアップしたウォーキングツアー、グリーンツーリズム各モニターツアーを実施し、アンケート調査等を行った結果、高い評価を得た。また、観光基礎調査として、観光者の行動の聞き取り調査、アンケート調査、宿泊施設・飲食店へのヒアリング調査により、宗像へ訪れる観光者の年代、来訪エリア、来訪目的などのニーズの把握を行うことができた。また、これらの調査結果を活かしたモデルコースの作成を行い、モデルツアーを実施した。



	回答数	割合
1 大変よかった	23	60.5%
2 まあ良かった	14	36.8%
3 あまり良くなかった	0	0.0%
4 悪かった	1	2.6%
5 無回答、不明	0	0.0%
	38	100.0%

大島港における大島親子釣り教室実施の様子

JR大島ウォーキング実施の様子、アンケート結果

実施取組内容・結果

○農水産物の商品開発プロジェクト、観光・産業振興官民共同プロジェクト

販路拡大・情報発信として、イベントに出店し、割引クーポン券を企画、その効果の分析を行い、消費動向の把握を行った。また、販路拡大のため、官民共同により、特産品PRのためのインターネット販売システムを構築し、試験販売を開始、合わせて携帯端末を活用した会員システムの構築を行った。ヤーコンチップ、米粉パンなど農産物を材料とした特産品の開発を行い、農業まつり等で試験販売、試食を行い、一部店頭販売を開始した。



農産物を活用した開発中の特産品  
ヤーコンチップ(上)と米粉パン(下)



九州観光・物産フェア出店（於：東京代々木公園）



特産品を試験販売するホームページ開設

◆取組実施による成果・今後の展開◆

福岡県北部沿岸地域の3市3町による「玄海地区観光連絡協議会」を設立し、関係市町による広域観光連携への取り組みの基盤が確立された。今後、当協議会を主体とし、平成20年度の調査成果、特産品、域内資源を活用した広域観光プログラムを開発、福岡都市圏、北九州都市圏からの集客を目指す。また、アジアへ発信するための先例として韓国の修学旅行生などをターゲットとした体験型観光モデルプラン作成にも取り組む。また、観光・産業振興官民共同プロジェクトの実践として、平成20年度に構築したインターネットシステム活用による商品販売や携帯電話を利用した会員制度の本格実施、さらには、海外からの旅行者を視野に入れた戦略に取り組む。平成20年12月に沖ノ島と関連遺産群が世界遺産暫定リスト記載が決定したことから、大島港を起点とした世界遺産関連観光プログラムを開発し、民間とのタイアップを含めて実施する。